授業科目名[英語名]							
連帯による新エネルギー革命[Revolution of new energy due to solidality]							
担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]							
小原幸三[099-285-7793]							
E-Mail	kozo@eee.kagoshima-u.ac.jp		受講対象	全			
課程区分	共通教育	学科/科目・分野等	教養 ５分野	開講期	前期水曜２	単位等	2.0
共同担当教員名							

教育目標のキーワード

コミュニケーション能力と相互理解/視野･判断力･探求能力

学習目標 (学生の達成　目標)

目標１）現在の自分の生活で消費しているエネルギー、食料、コストを見積もり、自分と社会との関わりを具体的に定量化する。
目標２）社会との関わりで定量化されていない指標を討論し、その取扱いに対する自分の意見をコミニュケートできること。

目標３）国際的な経済活動を調査し、自己の「生きる力」を強化するために「My Project」の企画を行う。

授業概要 (目的･内容･方法)

地球の温暖化、化石燃料の枯渇の深刻な問題が直前に迫っている。今、「何をなすべきか？」がすべての世代に問われている。この授業では、現在の自分の社会における生活を調査し、社会との関わりを具体的に追跡する。調査結果は、定量化できる指標はクラス全体でデータベース化する。特に、定量化できない指標についてクラス全体で討論し、意見を集約する手法を学ぶ。調査と討論を踏まえて自分のこれからの学習活動の目的意識を明確にするために「My Projeｃt」を企画する。講義では、海外で活動した貴重な経験を持つ方々に講義にボランティアで参加していただき、一緒に討論する。最終的に、この講義ではできるだけ早期に海外に出かけて、同世代の交流を行うための準備を行なう。海外で得た経験や人のネットワークを後輩に伝えて、経験や知識の循環の輪の中に自分を形成し、新エネルギー革命を担うことが目的です。

授業計画 (15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)

①講義概要説明、お互いの自己紹介、グループ形成

②「支えられている自分」を知る取組（調査の企画案の策定）

③調査結果のデータベース化（調査結果を数表やグラフ化し、地域・国・地球規模での推定を行う）
④「自分から始まる革命」調査結果をもとに、温暖化やエネルギー問題にどの用に取り組めるか具体的改善点を見出す）
⑤「定量化されていない指標」定量化しにくい、あるいはされていない指標について議論し、新しい視点を掘り起こす。
⑥「定量化の問題点」定量化されにくい指標のデータ化をクラス内で試行し、その問題点を明らかにする。
⑦「社会が変わることと、商品開発の関連性」新しいモノを求めることと、現在の生活を維持することは矛盾するのか？

⑧「科学・技術・経済 and what?」現在の私、あるいは社会に何が足りないのか？どこに、問題解決の糸口があるのか？
⑨「資源と商品：お互いが豊かになるために：その１」国の基礎である資源を知り、資源から商品を生産する基本的営みと、資源循環としてのリサイクルの現状
⑩「資源と商品：お互いが豊かになるために：その２」商品の価値とは何か？骨董品とゴミ？ゴミを減らすためには！
⑪「資源と商品：お互いが豊かになるために：その３」ゴミから商品を生み出すことは可能か？商品開発ってどうするの？
⑫「資源と商品：お互いが豊かになるために：その４」いっちょやたるか！商品を企画提案するための行動へ！
⑬「資源と商品：お互いが豊かになるために：その５」市場調査の必要性と「持続可能な社会における商品開発とは？」
⑭　「持続可能な社会に向けた商品の企画提案」地域の中小企業の企画担当者に学習成果を発表しアドバイスをもらう。
⑮「My Project」のレポートを作成し提出する。

受講要件	特にないが、コミニュケーション能力はある程度必要である。		
評価基準および方法	「My Project」のレポートで評価する。		
教科書	各自が関心のある本を1冊購入すること	**参考書**	キーワードをインターネットで検索し、できるだけ新しい情報を含んだ本、記事、科学論文等の参考文献の利用を勧める。
授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)	水曜日の１７：００以後（アポイントをとればそれ以外でも調整可能）	**その他**	自己資金による海外研修を支援します。様々な情報を活用して、海外の大学・パートナーと協力して新しいエネルギーを探しましょう。　チェスト！